

20th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-20)への参加報告

理学研究科 理学専攻 物質・生命化学領域 機能有機化学研究室

博士後期課程 1 年 伊藤正子

【出張先, 出張期間】

カナダ トロント、2024 年 8 月 11 日～8 月 16 日

【渡航目的】

国際学会「20th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-20)」に参加し、新しい芳香族化合物の研究発表を見聞きすることで今後の研究の展開に関する知見を得る。また、ポスター発表では自らの研究を発信するだけでなく、世界中で行われている研究の最先端を学ぶ。

【概要】

ISNA-20 は、新しい芳香族およびその他の π 共役系の合成とその特性およびその応用に関する国際学会であり、5 日間を通して 55 件の講演および、約 240 件のポスター発表が行われた。

【所感】

自身の研究分野である、新規 π 共役系に関する国際学会であったが、自身の所属する研究室で注目している分子の特性とは異なる観点から着目しているものも多く、興味深い発表が多くあった。また、分子の母骨格に含まれている一部分と同じ構造を含んだ分子を合成している海外の学生とはポスター発表で、その分子特性について熱く議論した。本学会は、自身にとって初の海外での学会であったため、緊張していたが、これまでに拝読していた論文の著者の先生方の講演を直接聞くことができ、互いに活発に議論をしている様子に感銘を受けた。今後の自身の研究に際しては、新たな分子骨格を考える上での足掛かりを得ることができた。

末筆ではありますが、貴重な機会を与えて下さった山口茂弘教授、トランスフォーマティブ生命化学融合研究大学院プログラム、今回の出張に関してご支援いただきました GTR 学生支援室の皆様には深く感謝申し上げます。



(上)研究室のメンバーと学会会場にて

(下)トロント市庁舎前にて

